

# 第 38 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2017. 09. 05 空田 さやか

## 『カナリア配合錠』

田辺三菱製薬(株) 才田さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：沢 丞先生、職員さん、熊山ともみ、相原美穂

細川亜希子、空田さやか

昨今コンプライアンスが重視される糖尿病治療において、配合剤の開発が顕著に行われている。

「カナリア配合錠」はインスリン分泌促進作用とグルカゴン分泌抑制作用を有する DPP-4 阻害薬テネリグリプチン（テネリア）と尿糖排泄促進作用の SGLT2（ナトリウム-グルコース共輸送体 2）阻害薬カナグリフロジン（カナグル）という異なる作用機序で血糖降下作用を有する本邦初となる配合製剤である。

### 〈効能・効果〉

- ・ 2 型糖尿病（但し、本剤を 2 型糖尿病の第一選択薬として用いないこと）
- ・ 高度腎障害患者又は透析中の末期腎不全患者では本剤の有効成分であるカナグルの効果が十分に得られない可能性があるので投与の必要性を慎重に判断すること

### 〈用法・用量〉

通常、成人には 1 回一錠を食前又は食後に経口投与する

### 〈副作用〉

頻尿、血中ケトン体増加、外陰部腫カンジダ、便秘、口渇

### 〈禁忌〉

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者  
重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病の患者  
重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者

#### <特徴>

- ・一般的な配合剤の薬価は単剤の合計価格の8割というものが多いが、本剤も8割の薬価になっている（300.30円）
- ・1剤形、1日1回投与の薬剤同士の配合剤なのでコントロールのしやすい合剤である

#### <考察>

テネリアは腎臓での排泄率が低いので、腎機能が低下した患者さんにも積極的に投与できるという認識が強い。しかし、腎機能が悪い患者さんには逆にカナグルの効果が十分に得られないことがあり、本剤の唯一の矛盾点となる。本剤が出た際は、まず患者の腎機能を確認する必要があると思われる。

また、2剤服用よりも1剤服用の方がコンプライアンスが10%程度上昇するという本メーカーの情報を受け、腎機能が正常範囲内の患者さんでテネリア/カナグルを併用しており、アドヒアランスが悪い方には本剤への変更を一考する価値があると考えられる。